

原発、復興、福島の声

東日本大震災から六年余り。この震災から何を学び、何をなすべきか。福島大学生・教員、富山大学生を囲んだ討論会を開催します。参加者自身が自由に討議するアカデミックな議論の輪にあなとも加わりませんか。

2018年

1月27日(土)

13:30～17:00

場所:富山大学経済学部 1階 101講義室

対象:学生 教職員 一般市民

定員:90名 参加費無料

基調講演

地域と大学を繋ぐとはどういうことか
～「むらの大学」の4年間～
小島彰(福島大学教授)

オープニング・スピーチ

近藤隆(富山大学学長補佐)

被災地域の声と新たな取り組み

高橋あゆみ

(福島大学地域コーディネーター)

川内村農業六次化の取り組み

秋戸優花(福島大学学生)

原子力発電所が地域に与えた影響

中村圭太(富山大学学生)

グループ討議+全体討議

ファシリテーター:橋本勝(教育・学生支援機構・教授)

クロージング・スピーチ:庄司美樹

(研究推進機構・准教授,アイソトープ実験施設長)

講師紹介:小島彰

福島大学人間発達文化学類教授。1955年、青森県八戸生まれ。1987年3月一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。1987年一橋大学経済学部助手、1989年福島大学教育学部講師着任、その後、助教授を経て現在、教授。最近の論文「いわき市小名浜アクアマリンパークの地域振興」松本武祝編『東北地方の開発の系譜』(明石書店、2015年、所収)。

主催:平成29年度富山大学学長裁量支援事業

「全学一体で取り組む富山発の放射線に関する情報発信」

問い合わせ:富山大学経済学部 新里泰孝

TEL:076-445-6424 FAX:076-445-6419 Email:niisato@ems.u-toyama.ac.jp

参加ご希望の方は事前にメールを頂ければ幸いです。